

デジタルサポーター活動参考事例集 (個人編)



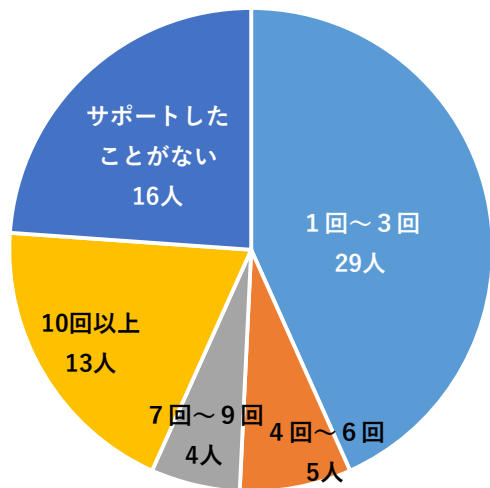
令和7年3月17日

静岡県デジタル戦略局
デジタル戦略課

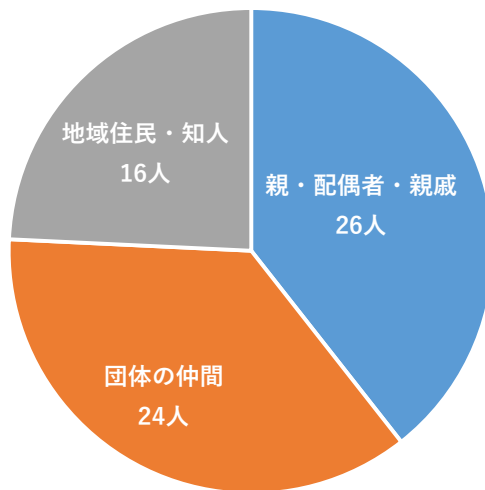
調査結果の概要

令和7年2月から3月にかけて、デジタルサポーターの皆様を対象に、個人でのサポーター活動に関するアンケート調査を行い、67人から回答をいただきました。その中から、7つの活動事例をご紹介します。今後のサポーター活動の参考になれば幸いです。

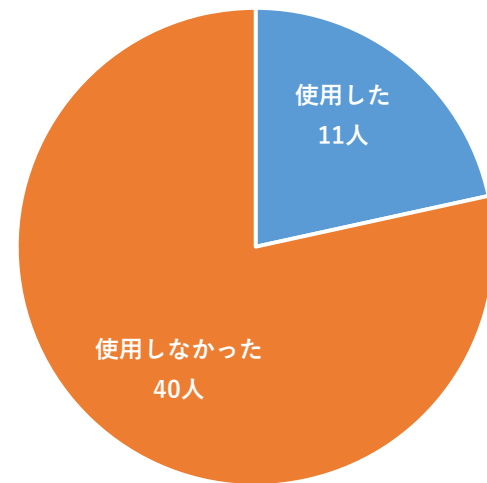
サポートした回数



サポートした相手（複数回答）



公式テキスト使用の有無



活動例①

サポートした相手：団体の会員（60～70代）

公式テキストの使用：あり

教えた内容：

- ・電源の入れ方、ボタン操作の仕方
- ・電話、メール、LINE、カメラ、インターネットの使い方
- ・マップの使い方 等

相手の反応：一人の会員から「中国語に興味があるが、使える無料アプリがあれば教えて欲しい」との質問があり、「google翻訳アプリ」を薦めたら中国語の発音まで聞くことが出来て非常に喜ばれた



活動例②

サポートした相手：自治会で開催されたスマホ講習会に参加した60代、70代

公式テキストの使用：あり

教えた内容：

- ・ LINEのお友達登録方法
- ・ 写真の撮り方・見方
- ・ 待受の変更の仕方
- ・ マナーモードの設定方法
- ・ 地図アプリの使い方
- ・ SNSの非公開方法
- ・ 電話の出方
- ・ フリック入力の仕方

相手の反応：用語から分からない方も多く、特に高齢者は初歩的なことか教えてもらいたいという方がほとんど。みんながやっているからという理由でSNSをやりたいという方もいたが、危険性があることも周知していく必要があると感じた

活動例③

サポートした相手：地域の住民（70代、80代）

公式テキストの使用：あり

教えた内容：

- ・健康アプリのインストール方法や使用方法
- ・地域の公式LINEの登録方法や使い方
- ・Android使用者にセキュリティについて
- ・スマートフォンを使って写真を撮り、LINEで送る方法

相手の反応：一回伝えただけでは覚えないので、本人に操作してもらいながら繰り返し練習。スマートフォンが使えて嬉しそうだった



活動例④

サポートした相手：自治会員(60から80代)月2回、2時間/回、全6回

公式テキストの使用：なし（資料は自前で作成）

教えた内容：

- ・ 準備編：スマホでできること、自分のスマホを知ろう…機種、部位と名称、基本ボタン・表示・よく使うアプリ
- ・ 基礎編：電源・ボタン・文字入力、電話・メール、カメラ・動画、WiFi、インターネット
- ・ 応用編：アプリの追加・削除、地図、一押しアプリの紹介（参加者から）

相手の反応：

- ・ 困ったこと・やりたいことが解決して満足
- ・ 自分でやれるようになって満足



活動例⑤

サポートした相手：母(80代)、義母(80代)、地域の高齢者(80代)

公式テキストの使用：なし

教えた内容：

- ・しずトク商品券の申し込みサポート
- ・しずおか食べトクキャンペーンの申し込み、利用方法
- ・アプリのインストールと情報登録

質問内容：

- ・二次元バーコードの読み取り方法
- ・デジタル商品券の利用方法
- ・細かな説明が文字も小さく読むのが難しい

相手の反応：生活の様々なところがデジタル化が進んでいるので困ってしまう。周りに気軽に聞ける人がいないと諦めるしかない

活動例⑥

サポートした相手：スポーツクラブメンバー(70から80代)

公式テキストの使用：なし

教えた内容：スポーツクラブの70-80代メンバーが体育館使用後に記入する日報がデジタルに変わり、二次元バーコードの読み取り方から日時の選択方法などについて教えた

質問内容：

- ・二次元バーコードの読み取り方
- ・アンケートの日付のカレンダーからの選択方法

相手の反応：二次元バーコードの読み取りが出来れば、懸賞や情報確認に使えるのでいろいろな場面で活用している様子

活動例⑦

サポートした相手：地域活動仲間（50から80代）

公式テキストの使用：なし

教えた内容：

- ・ LINEでのデータ一斉送信方法・グループの作り方・検索の仕方
- ・ スマホでのマイナポイントの見方・使用方法
- ・ 通話時の音量が最大でも小さいとの事でスピーカーの使用法

相手の反応：

- ・ 小さくて分かりづらい、見えにくい
- ・ やりたいところに行くまでに、操作が多い
- ・ 手がカサついて反応が鈍い、どこを触ったかわからない

